

# 保育の父・佐竹音次郎に学ぶ会

## 2017年度

講

演

会

定期総会



日時： 2017年5月10日（水）19:00～21:00

場所： 四万十市立 中央公民館 大会議室（1階）

# ♪ 会 次 第 ♪

進行：瀧澤 勝  
(音次郎会事務局)

- 1 はじめのことば (中平菊美副会長)
- 2 会長挨拶 (山崎祥正会長)
- 3 来賓祝辞 (四万十市副市長 中山崇)
- 4 講師紹介
- 5 講 演 「佐竹音次郎 児童福祉先駆者に学ぶ」  
講師 青木 浩 (若草園元園長・鎌倉保育園元理事)
- 6 質疑応答
- 7 定期総会
  - ①議長選出 (福留久美若草園施設長)
  - ②議事
    - 議案1 2016年度活動・収支報告
      - (1)活動報告
      - (2)収支決算報告
      - (3)監査報告
    - 議案2 2017年度活動・予算計画案
      - (1)活動計画案
      - (2)予算案
    - 議案3 会則の改定
    - 議案4 役員改選
  - 8 閉会の辞 (浦田一雄新会長)

## ◆ 目次 ◆

講演用資料 (講師より提供)	2 p
2016年度活動・収支報告	6 p
監査報告書	9 p
2017年度活動・予算計画案	10 p
役員名簿 (役員改選議案書)	12 p
音次郎会組織図	13 p
会則	14 p

# 講演「佐竹音次郎 児童福祉先駆者に学ぶ」～資料～

……佐竹音次郎を中心に学ぶ……

1 佐竹音次郎の人となり

2 佐竹家 家系

3 児童養護の代表される先駆者

- ① 佐竹 音次郎
- ② 石井 十次
- ③ 留岡 幸助

4 生育環境

- ① 佐竹 音次郎
- ② 石井 十次
- ③ 留岡 幸助

5 動機

- ① 佐竹 音次郎
- ② 石井 十次
- ③ 留岡 幸助

6 社会歴

- ① 佐竹 音次郎
- ② 石井 十次
- ③ 留岡 幸助

7 佐竹 音次郎の事績

8 影響を受けたと思われる人物

9 岡上 菊榮との出会い（高知慈善協会）

10 信仰

11 若草園（栄光会）との関係

## 講師紹介

あお き ひろし  
青木 浩

S43.3.1からH13.6.30までの33年4ヵ月、若草園で勤務。S58.7からは2代目の若草園園長に就任し、18年間務める。S58.7に中四国では初となるグループホーム（分園、アドラムの家）を開設するなど、現在の児童養護で提唱されている家庭的養育を先駆的に取り入れて実践される。また、音次郎が開設した鎌倉保育園の理事も務め、H8.3、若草園を社会福祉法人栄光会として独立法人設立に関しても貢献される。現在、公益財団法人ボイスカウト日本連盟の高知県連盟理事長。若草園のボイスカウト活動にも団委員長として指導教育に関わる。社会法人ひかり会・ひかり乳幼児保育園 理事長。

## 佐竹音次郎の事績

実質社会事業に携わった年数は45年

日本で最初、ないしは極めて初期に行われた事業が多くある

音次郎の事績

① 孤児院という名称を用いず保育院とした

「保育」の用語を育児事業に取り入れたのは音次郎が最初

② 乳児から養育したこと

当時5歳までは里子に出すのが通例だった

音次郎自身の生育体験からまた、小児科医としての知識から

③ 乳幼児と共に母親も収容援助とした

母子分離せずに母親の更生に力を入れ自立の援助を行った

④ 老人、障害者の収容援助の実施

困窮して頼ってくるものを広く受け入れる心の広さから

ゆりかごから墓場までの精神

⑤ 医業を止めて自主収入の道を断った

医師の収入だけでは多くの人たちを援助できない

⑥ 募金活動を自主収入の手段として経営

政府の公的援助がなく、独自の才覚で募金活動をした

「保育散」の販売 有名人の書画の寄付を受け慈善書画頒布会の実施

賛助会員制度の開拓により継続的後援者を発掘

⑦ 海外の日本人に対しての自立支援施設を設立

旅順、大連、京城、北京、台北

⑧ 海外の現地児童の育児事業の実施

韓国で最初にはじめられた日本で最初の現地人育児事業

⑨ 私財を投じて財団法人を設立

私有財産を持たない 理事長は置かず理事補とした

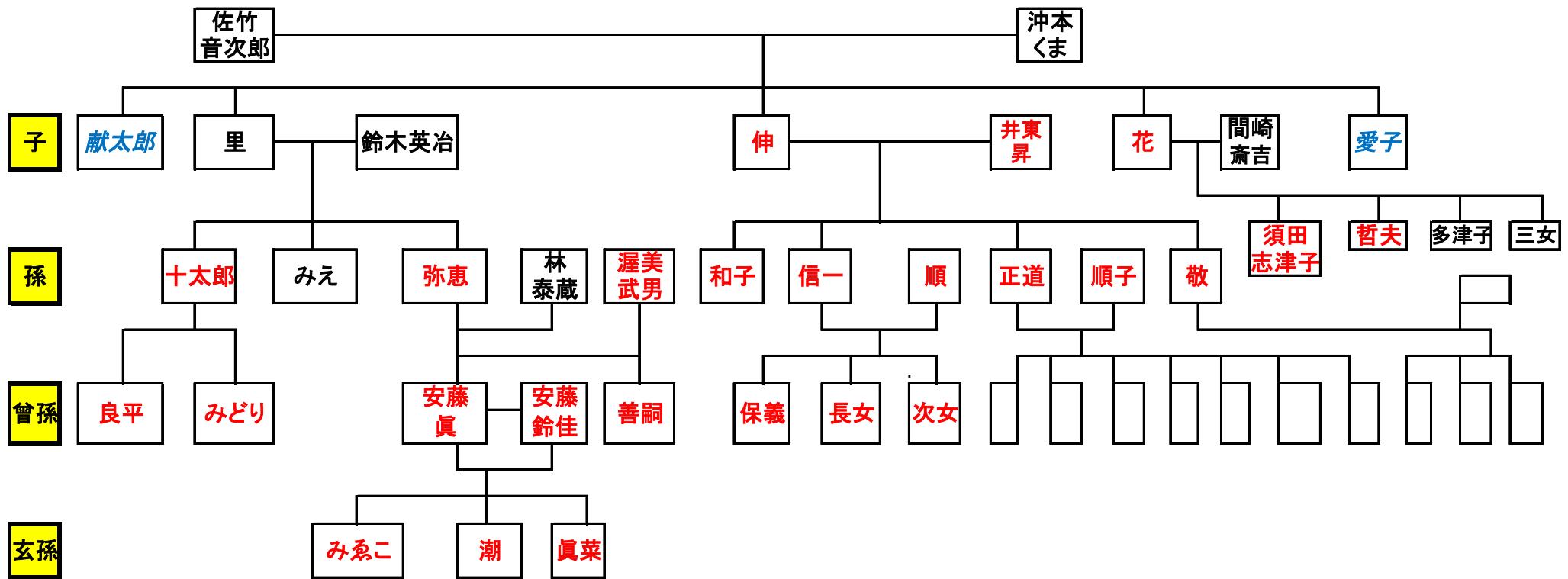
法人定款に「理事及理事補は私有財産を持たず」と銘記

この条項は、福祉事業界の内外に大きな波紋を起こした

## 佐竹音次郎・くま 関係家系図

赤字:私の出会った方々

斜字:幼少時に他界



## 石井十次の十二則

- |         |  |
|---------|--|
| 1 家族主義  | 小集団に分け専任の担当者 家庭生活に準じた生活方式<br>小舎制の始まり                     |
| 2 委託主義  | 乳幼児は里親に出し 10 歳になると施設に戻した 個別養護<br>イギリスのバーナードホームを参考に       |
| 3 満腹主義  | 十分な食事を与えることによって情緒の安定を図った                                 |
| 4 実行主義  | 子どもを教える時は大人がその手本を示す                                      |
| 5 非体罰主義 | 子どもを教える時体罰を用いてはならない                                      |
| 6 宗教主義  | 祈り、感謝、謙虚な気持ちを忘れない  |
| 7 密室教育  | 叱ったり注意をしたりする時、人前でせず 1 対 1 で話をする                          |
| 8 旅行教育  | 小グループで旅行の計画から実行まで経験させる<br>社会体験を積ませる                      |
| 9 米洗い教育 | 子どもを教え諭すには、米を洗うように何度も同じことを繰り返して教える                       |
| 10 小学教育 | 幼児期は遊びを重視 遊びから生活を学ばせる<br>小学校では、基礎的学習を行う                  |
| 11 実践教育 | 子どもの適性に応じた職業訓練を行う  |
| 12 托鉢主義 | 施設経営のため民間からの寄付を募る<br>寄付という行為により、事業の理解を深めてもらう<br>「施設の社会化」 |